

令和6年度「生徒による授業評価報告書」

1. 「生徒による授業評価」について

(1) 実施の目的

生徒の確かな学力を育成するため「生徒による授業評価」を行うことにより、教員の指導力の向上や授業の改善を図るとともに、生徒自らが学習への取組を見つめ直す機会とする。

(2) 「生徒による授業評価」を踏まえた授業改善

授業評価の集計・分析結果を踏まえ、学校全体及び各教科・科目等の課題を把握し、その解決に向けて、研究授業や校内研修を実施し、授業改善に取り組む。

(3) 結果の公表

授業評価の集計・分析結果及び、その課題を踏まえた授業改善の実施結果について、生徒・保護者・学校運営協議会等に公表する。

2. 「生徒による授業評価」の実施時期と方法、分析等

(1) 実施時期

年2回アンケート方式で実施する。1回目は夏季休業前に実施し、当該授業の課題等の状況を把握した。2回目は冬季休業前に実施し、課題の改善状況について把握する。

(2) 調査内容

各学校共通の内容として、2つの大項目、7つの共通小項目を設け、「4 かなり当てはまる」、「3 ほぼ当てはまる」、「2 あまり当てはまらない」、「1 ほとんど当てはまらない」の4段階の評価を行った。

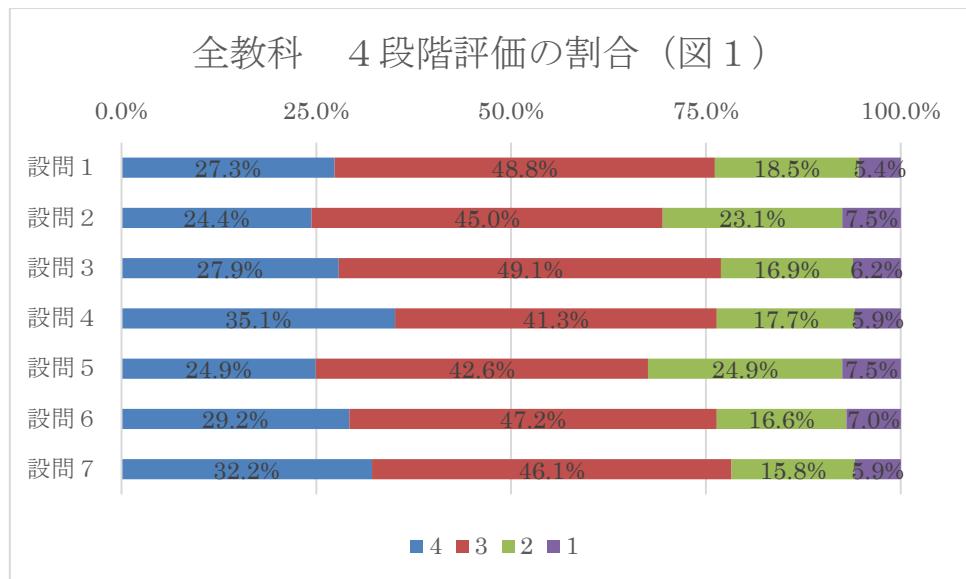
授業の在り方 について	1	毎時間の授業や単元（内容のまとめ）のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある
	2	単元（内容のまとめ）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある
	3	単元（内容のまとめ）の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある
学習の状況に について	4	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた
	5	他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた
	6	授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた
	7	授業で学んだことをこれまでに学んだことと関連付けて理解することができた

(3) 分析の方法

4段階評価「4 かなり当てはまる」、「3 ほぼ当てはまる」、「2 あまり当てはまらない」、「1 ほとんど当てはまらない」のうち、調査結果の傾向を顕著に示す「4 かなり当てはまる」に焦点を当てて分析を行った。

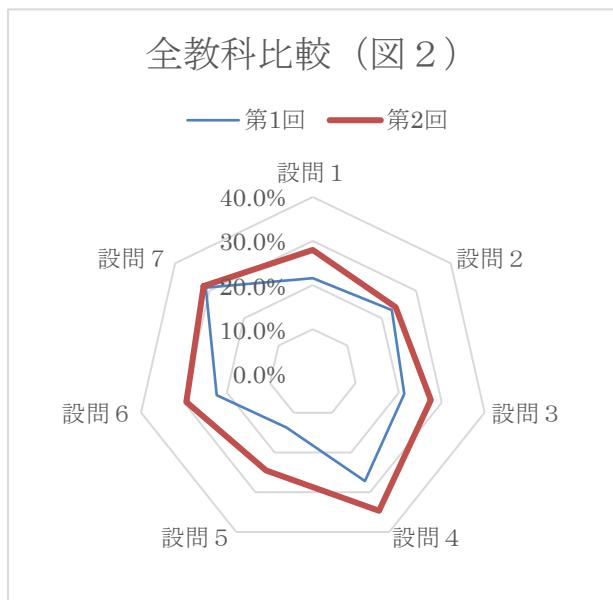
3. 調査の結果

○全教科の共通小項目に対する4段階の評価の割合は、次の通りである。



ほぼすべての設問において、「4 かなり当てはまる」と「3 ほぼ当てはまる」の割合は7割を超えており、多くの生徒は授業の在り方や学習の状態について満足していると見受けられる。

○全教科の共通小項目の評価4の割合は、次の通りである。



第1回授業評価と比較して、4の割合はすべての設問で増えている。大項目1（設問1～3）と大項目2（設問4～7）の4の割合の増加を見ると、大項目1（授業の在り方について）に比べて大項目2（学習の状況について）の割合が増えている。このことから、生徒一人ひとりが1年間の授業を通じて知識を得たり、新しい考え方を身に付けられたと実感していることがわかる。

○各教科の設問ごとの評価4の割合は、次の通りである。（表1）

	国語	地歴	公民	数学	理科	保健体育	英語	芸術	家庭	情報	総合
設問 1	23.8%	35.5%	41.7%	21.1%	27.5%	32.3%	29.3%	34.2%	30.0%	16.1%	22.0%
設問 2	28.6%	19.4%	37.5%	15.8%	21.6%	21.5%	29.3%	31.6%	30.0%	16.1%	24.4%
設問 3	28.6%	22.6%	16.7%	36.8%	15.4%	27.7%	31.7%	39.5%	30.0%	29.0%	24.4%
設問 4	28.6%	29.0%	37.5%	42.1%	22.5%	40.0%	36.6%	44.7%	50.0%	32.3%	29.3%
設問 5	33.3%	19.4%	25.0%	21.1%	22.5%	26.2%	26.8%	26.3%	40.0%	12.9%	24.4%
設問 6	21.4%	32.3%	29.2%	28.9%	18.4%	38.5%	36.6%	36.8%	30.0%	25.8%	24.4%
設問 7	28.6%	25.8%	29.2%	31.6%	28.2%	35.4%	36.6%	44.7%	50.0%	25.8%	24.4%

※第1回と比較して4の割合が10%以上増えた項目（オレンジ）と減った項目（レッド）を塗りつぶしている。

各共通項目とも、4段階評価「4 かなり当てはまる」の割合はほぼすべての項目で第1回目と比較して高くなっているまたは横ばいとなっている。